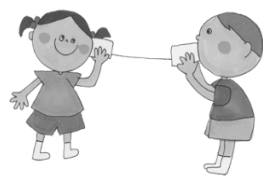


いと
系でんわ『考える^{あし}葦』

入学式が終わり、クラス全員で授業を受けるようになり、少しずつ気持ちもほぐれて日常が戻って来ました。また、仮入部や昼休みの外遊びも始まり、笑顔も少しずつ学校に広がって来ました。

しかし、今までは当たり前だった班食^{はんた}（班の友だちと向かい合って食べる昼食の時間）は、全員が前を向いて食べているので、前列は黒板と弁当を交互に見ながら、黙々と食べている様子を見ると寂^{さみ}しいです。また、昼食前は、手洗いのために手洗い場の前は、長蛇^{ちやうだ}の列^{れつ}になっています。手洗いの意識が高くなっているのは、大変素晴らしいことですが、手を洗った後、「自然乾燥～」と言いながら、高速で手を振って終わり、、、の人もいますので、毎日、清潔^{せいけつ}なハンカチを持って来るようにしましょう。

さて、入学式のあとは、各クラスで担任と副担任^{ふくたんしん}の先生から「こんなクラスにしよう！」「先生は〇〇を大切にしたい！」「絶対に〇〇は守ってほしい！」などの強い思いが、学級通信と一緒に伝えられました。そして、先生たちからの話を受けて、自分たちも「こんなクラスにしたい！」「自分は〇〇を頑張^{けんぱん}りたい！」という思いを込めた決意文を書きました。

決意文は、たくさん書ける人もいれば、書くことが苦手でうまく書けない人もいます。また、書いた文章を言葉にして発表することが得意な人もいれば、緊張^{きんちやう}してうまく発表できない人もいます。たくさん書けた人、うまく発表できた人だけが



頑張れ。

人間は考える葦である。

すごいのではなく、自分自身のこと、仲間のこと、クラスの^{しんけん}ことを真剣に考えた人もすごいことです。決意文を書いた時間（下書きの時間を含む）と発表の時間を合わせると、授業で約4時間（45分×4＝180分間）ありました。180分という時間を自分自身のことや仲間のこと、そしてクラスの^{しんけん}ことを考えられることは、とても素晴らしいことです。

最後に、フランスの思想家パスカルは、「人間は、自然のうちで最も弱い一本の^{あし}葦にすぎない。しかし、それは**考える葦**である」といいました。

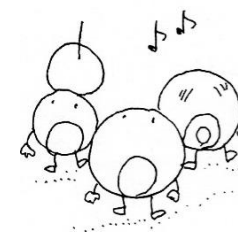
決意文を聴きながら、「この子はこんな子やねんなあ」や「こんな子に〇〇をやってもらいたいなあ」と考えられましたか。その後に、委員会などの立候補・推薦用紙を書いた時も、色々なことを考えられましたか。みんなが思うリーダーって、どんなリーダーですか。

リーダーっていうのはね

リーダーっていうのはね。

クラスみんなを自分の力だけで

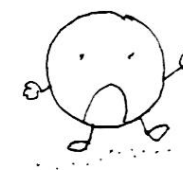
ひっぱっていくことのできる人と言うんじゃないくて。



合唱^{がっしょう}コンクール、みんな歌えよなんて言える人のことを言うんじゃないくて。

合唱コンクール、歌は下手^{へた}だけど、

みんなが歌うのがいいな**と思う人**を言うのであって。



けんかするなよ、

なんて中に割^わって入^いっていけるような強い人のことを言うんじゃないくて。

どうやったらいいかわからないけど、

クラスみんなが仲良^{なかよ}しになれたらいいなって**思う人**のことを言うのであって。

けんかを止めることはできないけど、

けんかしない方がいいな**思っている人**を言うのであって。



当番さぼるなよ、なんて先生みたいなことが言える人と言うんじゃないくて。

当番^{とうばん}、自分もちゃんとやれる自信^{じしん}がないけど、

できなかった時、失敗^{しっぱい}したな**と思う人**のことを言うのであって。

そしたら、誰でもできるってことで。

失敗してもやってみようという



気持ちのことをリーダー**って言うんだ**と思います。